

# 第 1 章

## 教材 A 1 学校と家庭を行き来する活用シート

### 【 幼児・小学校低学年 】

ルールやマナーについて話し合うきっかけとなる教材  
子どもたちの様子、学級の目標などを家庭と共有します

- 2種類の活用シートがあります。
- 配布用のシートは、学校の様子を伝えるとともに、保護者から意見や感想を書いてもらうために用います。
- 回収したシートをもとに作成した通信例をいくつか示しています。
- カラー版は、Web ページからダウンロードできます。

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/kihan> (PDF 版、Word 版)

内 容		ページ
活用シートの使い方		2
活用シート〔幼・小低〕	食事をするとき	3 - 8
活用シート〔幼・小低〕	話を聞くととき	9 - 14

# 活用シートの使い方

## 手順1：活用シートを用いて学級の様子を伝える

みんなが気持ちよく生活するために、気をつけることを考えたり、学級で話し合っ  
て目標を決めたりしたことを、子どもたちの様子や声とあわせて活用シート  
にまとめ、各家庭に持ち帰らせます。

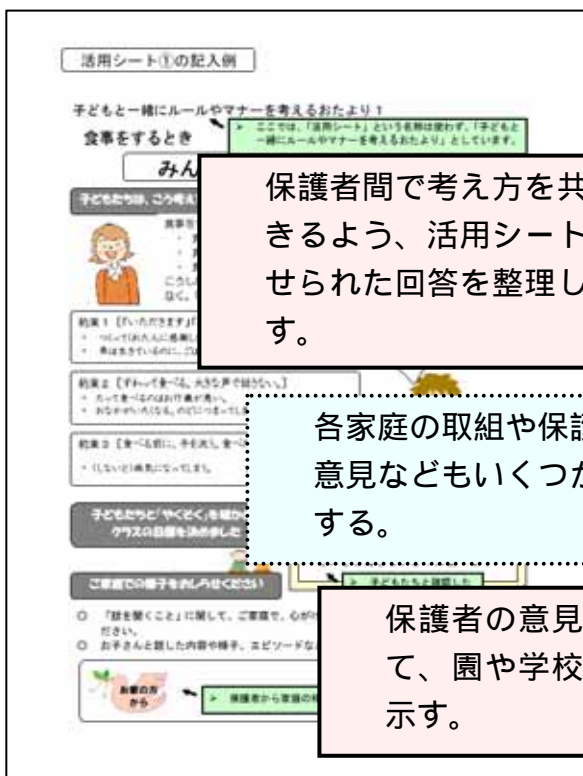


学級で子どもたちと話し合った内容をまとめ、記入する。

子どもたちと話し合い、みんなで大切にしたいことを「学級の目標」にする。

保護者に、家庭での様子を書いてもらう。

## 手順2：活用シートの実践をまとめ通信を作成・配布する



子どもと一緒にルールやマナーを考えるおたより！

食事をするとき

みんなで きもちよく たべよう

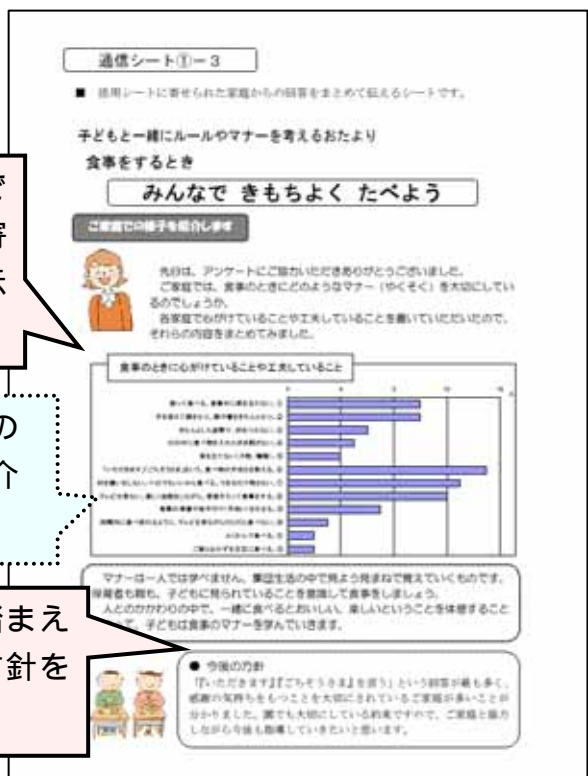
ご家庭の様子を紹介しませう

約束

子どもたちと「やくよく」を組む

ご家庭の様子を紹介ください

お家の方から



通信シート①-3

活用シートに寄せられた家庭からの回答をまとめて伝えるシートです。

子どもと一緒にルールやマナーを考えるおたより

食事をするとき

みんなで きもちよく たべよう

ご家庭の様子を紹介しませう

まずは、アンケートにご協力いただきありがとうございます。ご家庭では、食事のときどのようなマナー（やくよく）を大切にしているのでしょうか。各家庭でもがけていることや工夫していることを書いていただければ、それらの内容をまとめてみました。

食事のときに心がけていることや工夫していること

項目	回数
やくよくを大切にしていること	10
子どもと一緒にルールやマナーを考えること	8
約束を大切にしていること	6
食事のとき、子どもたちと話し合っていること	5
食事のとき、子どもたちと話し合っていること	4
食事のとき、子どもたちと話し合っていること	3
食事のとき、子どもたちと話し合っていること	2
食事のとき、子どもたちと話し合っていること	1

マナーは一人では学べません。家庭生活の中で何より親が率先して実践していくことが、保護者も子どもにも見られていることと意識して食事を楽しみましょう。人とのかわりの中で、一緒に食事をとりたいし、楽しいということを感じることが、子どもは食事のマナーを学んでいきます。

今後の方針

「いただきます」「ごちそうさま」を言う」という回答が多く、感謝の気持ちをもつことを大切にされているご家庭が多いことがわかりました。謝りも大切にしているご家庭です。ご家庭と協力しながら今後も励ましていきたいと思います。

保護者間で考え方を共有できるように、活用シートに寄せられた回答を整理して示す。

各家庭の取組や保護者の意見などもいくつか紹介する。

保護者の意見を踏まえて、園や学校の方針を示す。

指導のアイデアや関連するデータなど、保護者が参考にできる情報を伝えるための通信シートを作成することも考えられる。

## 食事をするとき

## みんなで きもちよく たべよう

子どもたちは、こう考えています



食事をするときの「やくそく」について、子どもたちに聞いてみました。

- ・ 食べはじめる前にすることは？
- ・ 食べるときに守ることは？
- ・ 食べた後にすることは？

こうした問いに対して、子どもたちは、「どうするとよいか(行動)」だけではなく、「どうしてそうするのか(理由)」も答えています。

約束 1

約束 2

約束 3

子どもたちと「やくそく」を確かめ、  
クラスの目標を決めました

ご家庭での様子をお知らせください

〔 〕組の もくひょう

ご家庭では、食事のときにどのようなマナー(やくそく)を大切にしていますか。  
心がけていることや工夫していることをお書きください。  
お子さんの様子や体験談、気になることなどでも結構です。お家の方  
から

食事をするとき

みんなで きもちよく たべよう

子どもたちは、こう考えています



食事をするときの「やくそく」について、子どもたちに聞いてみました。

- ・ 食べはじめる前にすることは？
- ・ 食べるときに守ることは？
- ・ 食べた後にすることは？

こうした問いに対して、子どもたちは、「どうするとよいか(行動)」だけではなく、「どうしてそうするのか(理由)」も答えています。

約束1〔「いただきます」「ごちそうさま」を言う。〕

- ・ 作ってくれた人に感謝したいから。
- ・ 魚は生きているのに、ごはんになってくれたから。

約束2〔すわって食べる。大きな声で話さない。〕

- ・ 立って食べるのはお行儀が悪い。
- ・ おなかがいたくなる。のどにつまってしまう。

約束3〔食べる前に、手を洗う。食べた後は、歯磨きをする。〕

- ・ (しないと)病気になってしまう。

子どもたちの意見を紹介する。



子どもたちと「やくそく」を確かめ、  
クラスの目標を決めました



ご家庭での様子をお知らせください

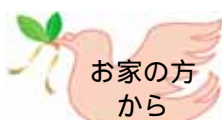
〔さくら〕組の もくひょう

ものをこぼさないように食べよう

子どもたちと確認した目標  
を記入する。

「話を聞くこと」に関して、ご家庭で、心がけていることや工夫していることをお書きください。

お子さんと話した内容や様子、エピソードなどでも結構です。



お家の方  
から

保護者から家庭の様子を伝えてもらう。



食事のルールやマナーを話題にして、園や学校の考え方を伝えるシートです。

子どもと一緒にルールやマナーを考えるおたより

## ♪食事を楽しもう♪

みんなで確認しよう

子どもへのかかわり方のポイント  
示す・見守る・ほめる

早目におやすみ、ちゃんと朝ごはん  
生活リズムを整える

みんなそろって「いただきます」  
感謝の気持ちを言葉に表す

みんなで、おいしく、気持ちよく  
食事のマナーを身につける

いっしょに食べて、楽しい会話  
食卓は、大事なコミュニケーションの場

“お手伝い”“自分でできる”は、自立への一歩  
食事の準備や片付けに参加させる

学級で指導していることや目指していることを分かりやすく短い言葉で表してみました。

大切にしているルールやマナーを「合い言葉」のようにして意識できるといいですね。ご家庭で「やくそく」を確認するときの参考にしてください。

保育者からの  
アドバイス

## マナーを身につけるために 大切なこと・できること

### マナーのお手本は、身近な大人

マナーはひとりでは学ばません。集団生活の中でお互いを見てマナーが身に付いていきます。

食事のマナーの基本は、相手とコミュニケーションをとりながら、お互いに気持ちよく、おいしく食べることです。相手に不快な思いをさせないことは、人とかわる上での大切なマナーです。

マナーは見よう見まねで覚えていくものです。子どもたちと一緒に食事を楽しみながら、大切にしたいマナーを伝えていきましょう。

### マナーは形式ではなく、真心で

食事のマナーには、食事の挨拶、食べ方、食器の扱いなどがあります。礼儀作法だけがマナーではありません。

動植物の「命をいただく」という気持ちや、食材を育ててくれた人や料理を作ってくれた人への感謝の気持ちなども食事のマナーの根本にはあります。

人やものに感謝し大切にすることは、優しさや節度ある態度にもつながります。

活用シートに寄せられた家庭からの回答を、グラフなどにまとめた例です。

子どもと一緒にルールやマナーを考えるおたより

食事をするとき

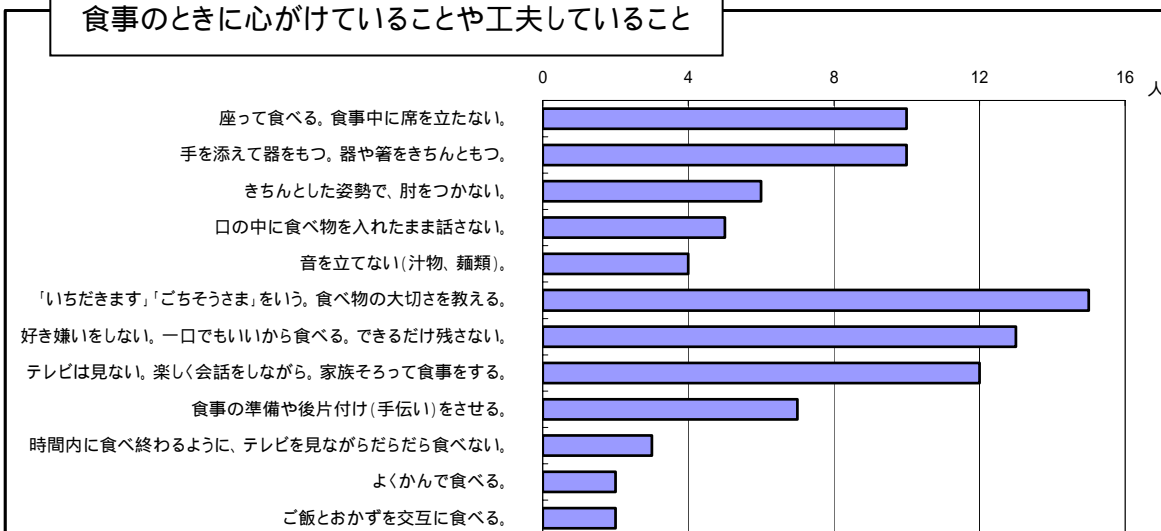
みんなで きもちよく たべよう

ご家庭での様子を紹介します



先日は、アンケートにご協力いただきありがとうございました。  
ご家庭では、食事のときにどのようなマナー（やくそく）を大切にしているのでしょうか。  
各家庭で心がけていることや工夫していることを書いていただいたので、それらの内容をまとめてみました。

食事のときに心がけていることや工夫していること



マナーは一人では学べません。集団生活の中で見よう見まねで覚えていくものです。私たち大人も、子どもに見られていることを意識して食事をしましょう。

人とのかかわりの中で、一緒に食べるとおいしい、楽しいということを体感することによって、子どもは食事のマナーを学んでいきます。

今後の方針

「『いただきます』『ごちそうさま』を言う」という回答が最も多く、感謝の気持ちをもつことを大切にされているご家庭が多いことが分かりました。園でも大切にしている約束ですので、ご家庭と協力しながら今後も指導していきたいと思ひます。



活用シートに寄せられた家庭からの回答を、文章で紹介した例です。

子どもと一緒にルールやマナーを考えるおたより

## ♪食事を楽しもう♪

みんなで、おいしく、気持ちよく

子どもへのかかり方のポイント  
示す・見守る・ほめる

お家の方から 先日のアンケートにご回答いただいた内容の一部を紹介します。

食が細いので、親としてはいろいろ言いたいところですが、食べても食べなくても楽しく食事することを心がけています。

いろいろな味を知ってほしいので、あまり箸のすすまない食べ物は、親が「おいし〜い」といって、少しでも食べるように、気持ちをもっていくようにしています。

きれいなものでも一口でいいからがんばって食べる。食べたらいっぱいほめる。最近は、夕食の手伝いをしてもらい、自分が食べるものがつくられていく様子を見せたり、食べた後の片づけを一緒にしたりしています。

できるだけ家族そろって食事をするようにしています。

立って食べたり遊びながら食べたりしないように教えています。椅子から落ちたら危ないし痛いからやめようねと言っています。

箸の持ち方や、お茶碗をしっかり持つことを指導しています。きちんとできることで、小さいものや柔らかいもの等をつかんだり切ったりできるので、細かいことですが子ども自身のためにも教えています。

昔でしたら食事中的の会話は叱られるところでしょうが、仕事をしており、子どもたちと一緒に過ごす時間が少ないので、1日の出来事などを話しながら食べることになっています。また、食器を持たずに食べるので、食べこぼしが多いのを改善すべく、床に低いテーブルを置き自然に食器を持ち上げるよう工夫しています。

保護者の方へ



アンケートへの協力、ありがとうございました。ご家庭での方針や約束事を知ることが、一人一人の子どもを理解し、園での保育について考えるうえで、大変参考になりました。これからの指導に役立てたいと思います。

子どもたちにとって、食事はとても重要です。体だけでなく心を育てる大切な場です。食事を通して、ものを大切に扱うことや思いやりの心が育ち、それは、人に優しく接することにもつながると考えています。これからもご家庭との連携をとりながら、子どもの育ちを見守っていきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

話を聞くとき

相手を見て 話を聞こう

子どもたちは、こう考えています



どうしたら 上手に話を聞くことができるかな。

話を聞くときの「やくそく」について子どもたちに聞いてみました。

子どもたちは、「話を聞くときに気を付けていること」について、自分の体験を思い出しながら、次のように答えています。

約束 1

約束 2

約束 3



子どもたちと「やくそく」を確かめ、クラスの目標を決めました



ご家庭での様子をお知らせください

( )組の もくひょう

「話を聞くこと」に関して、ご家庭で、心がけていることや工夫していることをお書きください。

お子さんと話した内容や様子、エピソードなどでも結構です。



お家の方から





話を聞くと

相手を見て 話を聞こう

子どもたちは、こう考えています



どうしたら 上手に話を聞くことができるかな。

話を聞くときの「やくそく」について子どもたちに聞いてみました。

子どもたちは、「話を聞くときに気をつけていること」について、自分の体験を思い出しながら、次のように答えています。

約束1 手をひざにおいて きちんとすわる  
おへそを むける

遊びが楽しくなって、話が聞こえなくなってしまう。

約束2 静かにする

話をしている人とおしゃべりのけんか(言い合い)になる。

約束3 話をしている人の目を見ながら聞く

- ・ 誰が話しているのか分からない。
- ・ 話を聞いていないように思われてしまう。



子どもたちと「やくそく」を確かめ、  
クラスの目標を決めました



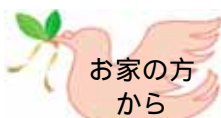
ご家庭での様子をお知らせください

( たんぽぽ )組の もくひょう

話をしている人を見て、しずかにきこう

「話を聞くこと」に関して、ご家庭で、心がけていることや工夫していることをお書きください。

お子さんと話した内容や様子、エピソードなどでも結構です。



お家の方  
から



食事のルールやマナーを話題にして、園や学校の考え方を伝えるシートです。

子どもと一緒にルールやマナーを考えるおたより

## \*心を傾けて聞こう\*

“視線を合わせて” 「聞く・話す」

子どもへのかかわり方のポイント

- ・ 関心をもつ
- ・ 視線を合わせる
- ・ 感情を言葉で伝える

あなたの話を  
もっと聞きたい。

話をしてくれ  
てありがとう。

ちゃんと聞いて  
くれてうれしい。



聞いてもらえる心地よさや安心感を体験している子は、  
人の話をしっかり聞くことができます

「心を傾けて話を聞く」ことは、相手を大切にすることです

相手の話をきちんと受け止める気持ちがあってこそ、相手との会話が成り立ち、よりよい人間関係を築いていくことができるのではないのでしょうか。

相手が安心して話せるように聞く

「あなたの話を聞いているよ」「あなたの話（気持ち）を聞きたいな」というメッセージを言葉や態度に表して聞くことで、子どもは安心して話をすることができます。

また、子どもが話しかけてきたときには、「ちゃんと聞いているよ」と態度で示すとともに、「話をしてくれてとってもうれしい」「ありがとう」と言葉にして気持ちを伝えてください。

### 保育者からの アドバイス

共感、納得することで自発的に  
行動できるようになります

「自分も相手もうれしくなるから、これはいいことなんだ」「...のためには、...することが必要なんだ」などの共感や納得ができてこそ、自分で判断し自発的に行動するようになります。

「話を聞く」ことは、  
集団生活の基本です

教師は、子ども一人一人ではなくクラス全体に話をする場面があります。「話を聞く」ことができる子は、全体に対する話を、自分のこととして受け止め、内容を理解したり行動したりすることができます。

活用シートに寄せられた家庭からの回答を、グラフなどにまとめた例です。

## 子どもと一緒にルールやマナーを考えるおたより

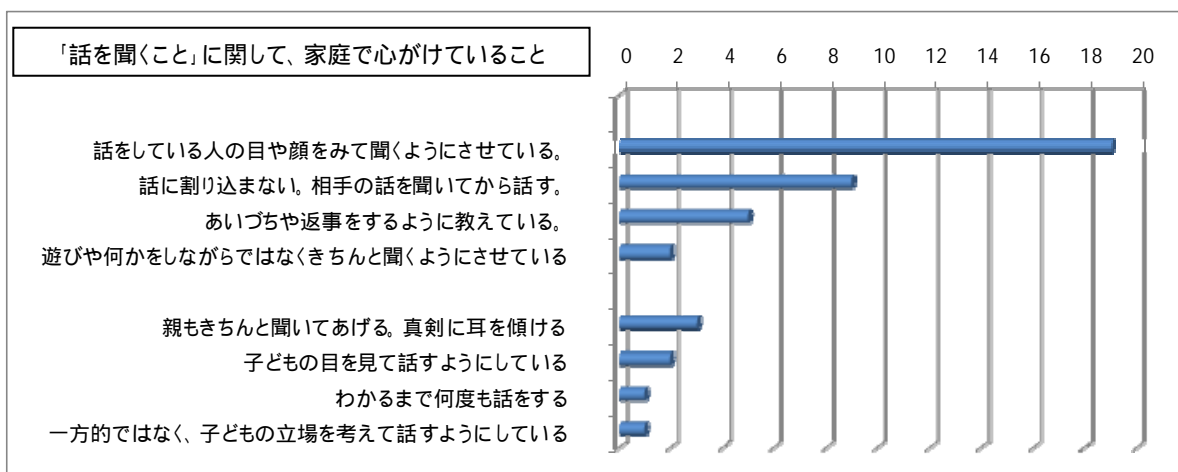
### 話を聞くとき

# 相手を見て 話を聞こう

#### ご家庭での様子を紹介します

先日は、アンケートにご協力いただきありがとうございました。

「話を聞くこと」に関して、ご家庭で心がけていることや工夫していることの回答をいただきました。それらの内容をまとめましたので、紹介します。



子どもの様子  
や支援について  
一緒に考えてい  
きましょう。

#### 保護者の方へ

#### 今後の方針

「聞いてほしい」「聞いてもらえてうれしい」という気持ちを大切に、「聞きたい」と思える人間関係を築きながら、聞き方のマナーも指導していきたいと思えます。

「目と目を合わせて話をする」という回答が多くありました。話し手の方に向かせることを子どもに要求するだけでなく、こちらから視線を合わせてあたたかく話をすることの大切さに改めて気付くことができました。また、「その子に合わせた聞き方をする」という記述もありました。園では、全体に話をする機会が多いので、つい全員に同じような聞き方をするよう、指導してしまいがちですが、その子に合った聞き方があることに気付く、話し方にも工夫が必要だと思いました。

今回、ご家庭と園の意見を伝え合うことで、子どもへの理解がさらに深まったように思います。子どもたちの健やかな成長を願い、一緒にがんばっていきたく思いますので、これからも、ご家庭の様子などをお知らせください。

活用シートに寄せられた家庭からの回答を、文章で紹介した例です。

子どもと一緒にルールやマナーを考えるおたより

## \*心を傾けて聞こう\*

“視線を合わせて”「聞く・話す」

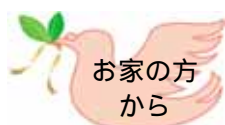
子どもへのかかわり方のポイント

- ・ 関心をもつ
- ・ 視線を合わせる
- ・ 感情を言葉で伝える

あなたの話を  
もっと聞きたい。

話をしてくれ  
てありがとう。

ちゃんと聞いて  
くれてうれしい。



お家の方  
から

アンケートにご回答いただいた内容の一部を紹介します。

遊んでいる手を止めて、話し手に“おへそ”を向けて聞くように伝えていきます。話がわかったかどうか確認のためにも、“うん”でもいいので言ってね”と話しています。

子どもは目をそらすことが意外と多いので、しっかり目を見て話すようにしています。だらだら話していると遊びがはいつてきてしまうので、集中し、手短かに話をしようと心がけています。

子どもが話を聞いてほしいときには、親も子どもの目線と合わせて聞くようにしています。特に大切な話をするときや叱るとき、子どもの考えを聞くときは、手を休めて、子どもの心にとどくように話すことを心がけています。

自分の話をするだけでなく相手の話を聞くことも大事だということや、相手の気持ちを考えながら話すことができるようにしています。

家では使わないような言葉を話したりすることが多くなってきて驚いていますが、友達といっぱい話しているのだなと思い、微笑ましくもあります。

## 保護者の方へ



保護者の方や子どもたちから、「シートに書くときに、いろいろと親子で話をした」と伺いました。人間関係を築くうえで基本となる「聞く」ことについて、ご家庭でも話題にいただきありがとうございます。保護者の方の回答から、話を聞くときの約束事として、多くのご家庭でも同じようなことを大切に考えていることが分かりました。園で子どもたちと話し合ったときにも、何人もの子が、どのように聞くとよいのか自分の言葉で答えていました。これからも、話を聞いてもらえる心地よさを実感し、「お互いの気持ちを分かり合い気持ちよく生活するために、よく聞くこと」ができるよう、子どもたちに経験を積ませたいと思います。